

2025 年度 東京医科大学

【 講 評 】

第1問では昨年度、一昨年度に引き続き発音・アクセント問題は出なかった。難度は昨年度と同様に易しめ。このレベルであれば最低8割の得点率は欲しいところである。

第1問は「語彙問題」。dのon what groundという表現はやや難であるが、消去法で正答できるだろう。それ以外は基本レベル。第2問は「語句整序英作文」。レベルは易。医学部という枠組みの中ではなく、大学入試全体で見てもかなり易しい語句整序問題である。ここは全問正解以外ありえないだろう。第3問は「認知と運動の解離」に関する長文問題。レベルは並。医系長文だが比較的読みやすい。ここでも高得点を狙いたい。第4問は「職場に子どもを連れていくことを認めている地方自治体」に関する長文読解問題。レベルはやや易。例年数の多さが注目されている内容真偽問題の選択肢が、今年度も昨年、一昨年と同じ12題。本文と照合しながら読み進めていけば効率よく解ける。英文和訳問題は、難しい単語もなく意味も把握しやすい。

【 解 答 ・ 解 説 】

第1問

- a. 1 ④ 「人々は生活費の上昇のせいで、以前より生活が苦しくなっている」
・ bad off 「暮らし向きが悪い」 ⇔ well off
- b. 2 ② 「先週あなたのシフトの穴埋めをしました。私に恩があることを忘れないでくださいね」
・ owe O a favor 「Oに恩がある」
- c. 3 ④ 「バス運賃は移動距離に応じて変化する」
・ fare 「運賃」
- d. 4 ④ 「どんな根拠であの会社は彼女の応募を拒んだのだろう」
・ on...ground 「…な根拠で」
- e. 5 ③ 「もしそのイベントに参加したいなら、新しい出会いを積極的に受け入れてください」
・ If S should do → Should S do 「万一…なら」(仮定法未来・ifの省略による倒置)
- f. 6 ③ 「彼は散歩中に、ようやく解決策が思い浮かんだ」
・ occur to A 「Aの心に浮かぶ」

第2問

- a. 7 ③ 8 ② [④③⑥⑤②①]

[She thought the mistake was the last one she wanted to see happen.]

「そのような間違いは、最も起こるのを見たくなかったものだ」と彼女は思った」

・ the last (that) SV... 「最も…しない」

- b. 9 ⑤ 10 ① [④⑤③②①⑥]

[Most students can answer almost all the questions with no difficulty.]

「ほとんどの生徒は難なくほぼすべての問題に答えることができる」

- ・ most 「ほとんどの」(形容詞)、almost 「ほとんど」(副詞)

c. 11 ② 12 ③ [④②①⑥③⑤]

[So beautiful a view was it that I stood in awe for several minutes]

「それはあまりにも美しい景色だったので、数分の間私は畏敬の思いを持って立ち尽くした」

- ・ so+形容詞+a(an)+名詞

d. 13 ④ 14 ② [③④⑥⑤②①]

[Her advice turned out to be of considerable help as the project progressed]

「彼女のアドバイスはプロジェクトが進行すると、かなり役に立つことがわかった」

- ・ turn out to be C 「後で…だとわかる」、of help=helpful

e. 15 ⑥ 16 ① [④⑥③②①⑤]

[I like the way jokes help ease the tension]

「ジョークが緊張を和らげるのに役立つ方法が私は好きだ」

- ・ the way SV 「…の仕方」、help do 「…するのに役立つ」

f. 17 ⑥ 18 ⑤ [③⑥①④⑤②]

[The choices we make have a lot to do with the outcome.]

「私たちのする選択は結果と大いに関係がある」

- ・ have a lot to do with... 「…と大いに関係がある」

第3問

19 ③ 「認知と運動の解離とは_____」

・ 第5段第3文で、「その研究はこれを認知と運動の解離と呼んでいる」と述べられている。「これ」とは「植物状態の患者が実は頭の中で言葉による指示に答えられる」ことを指している。したがって、③「ある患者が表面的には無反応に見えたとしても、頭の中では指示に答えることができる状態を述べる用語である」が正解となる。

20 ③ 「Dr. David Greer は_____」

・ 第15段落で one limitation of the study 「研究の限界」に言及があり、直後のコロン以降で「患者は脳の損傷や機能不全において同程度ではない」と説明されている。したがって、③「患者の損傷と脳の機能不全の程度の多様性を強調し、その研究の潜在的な弱点を指摘した」が正解となる。

21 ② 「Dr. David Greer が脳の外傷を持つ患者を診断する際に、いつも気をつけてるのは_____だからである」

・ 第19段落で「それらは、Dr. David Greer は軽率な判断をしないようにいつも気をつけていることだ」と述べられているが、「それら」とは直前の「脳の外傷から、半年あるいは1年後に回復が見られる」という内容を指している。したがって、②「患者は長期間経ったのちに、予想外の回復を見せることがある」が正解となる。

22 ④

・ 第23段落で「脳移植やニューロモデュレーション（脳の活動を変えるために電流を用いる）が次世代の治療の主流になるかもしれない」とあるが、これは将来の話であって Currently 「現在」のことではない。なお、該当箇所の current は「流れ」の意味である。したがって、④「現在、脳移植やニューロモデュレーションが意識を回復させる最も効果的な治療の1つである」が本文の内容と一致せず、正解となる。

23 ④

・空所を含む文は「これらの損傷の_____は事故や心臓発作、脳卒中と多岐にわたる」という意味。空所に「原因」の意味の④sourceを入れると文意に合う。

24 ②

・空所を含む文は「知的課題は、言葉による合図に反応できるほど回復した患者でさえ実行するのが難しいほど_____だった」空所に「骨の折れる、きつい」の意味の②demandingを入れると文意に合う。

25 ③

・空所を含む文は「私たちは人を_____したことがわかっている」という意味。直前の文で「4人に1人というのは控えめな数字だ」とあるため、表現する手段を持たないだけで意識がある人が実際にはもっといたはずだということが述べられている。したがって、空所に「…を見落とす」の意味の miss の過去形 missed を入れると「(実際には意識がある)人を見落としてしまった」という意味になり、文意に合う。

26 ③

・空所を含む文は「もしこれらの検査で意識を示す兆候が示されなかったら、医師は_____回復の見込みはないと決めつけてしまうだろう」という意味。したがって、空所に「誤って」の意味の③falselyを入れると文意に合う。

27 ③

・空所に「保証する」の意味の接続詞③guaranteeを入れると、「患者に意識があったとしても、いつか通常の生活に戻れることを保証はしない」となり文意が通る。

28 ⑤

・空所に接続詞②ifを入れると、A, if not B「たとえ B でないにしても A」の表現となり、空所を含む文は「これらの患者のうち、たとえほとんどでないにしても多くがいまだ深刻な障がいを抱えている」となって文意が通る。

29 ①

・ think about A 「A について考える」

第4問

a. 30 ⑤ ⑥ ⑩ ⑫

①「子どもを職場に連れてくることを認める主な目的は、従業員の子育てに対するストレスを軽減することによって生産性を高めることである」

・第2段落1文目で、「その目的は、従業員が仕事と子育てのバランスをとることを助けることによって、優秀な人材を確保することだ」と述べられている。したがって、本文の内容と**一致しない**。

②「父親の職場が、慣れている子育てサービスとは似ていなかったのも、アオイは緊張しているようだった」

・第3段落中に、「緊張した面持ちだった」という表現があるが、これは娘のアオイではなく父親のことである。したがって、本文の内容と**一致しない**。

③「8月5日に、サガワは、娘の世話に時間を使うことなく予定通りにすべての仕事を終えた」

・第4段落2文目で、「娘が退屈しないように、サガワはときどき娘を抱いてオフィスの中を散歩した」と述べられている。したがって、本文の内容と**一致しない**。

④「サガワの前に、東京都産業労働局のシステムを利用した職員が他に3名いた」

・第6段落で、「サガワはこれまでに都庁でそのシステムを利用した3名の職員のうちの1人だ」と述べられている。したがって、本文の内容と**一致しない**。

⑤「都庁が導入したシステムの目的は、子どものいる職員を支援することで、労働市場でより効果的に競争力を高めるのに役立てることだ」

第7段落最終文で、「そのシステムは、職員採用の競争力を高めるために、職員が子育てと仕事のバランスをとることを可能にする環境を生み出す」と述べられている。したがって、本文の内容と**一致する**。

⑥「豊明市は、職員が子どもを職場に連れてくることを認めるシステムを作ったことにおいて、地方自治体の中で先駆けである」

・第8段落2文で、「そのシステムを導入した最初の自治体は豊明市だった」と述べられている。したがって、本文の内容と**一致する**。

⑦「豊明市がそのシステムを完全に導入すると、利用条件を撤廃したにも関わらず最初は利用がゼロにまで落ち込んだ」

・第10段落2文目で「完全に導入されたときに、市は条件を設定した」と述べられている。したがって、本文の内容と**一致しない**。

⑧「試用期間の後で、実際に子どもを職場に連れてきた豊明市の職員の70%が、職場に子どもを連れてくるという考えを支持した」

・第11段落最終文で、「周りにそのシステムを利用したことのある人のうち70%が『イエス』と答えた」と述べられている。したがって、本文の内容と**一致しない**。

⑨「高山市庁では、子どもを職場に連れてくる職員は、仕事中は同僚に子どもの見守りをしてもらうように推奨されている」

・第13段落最終文で「高山市は、同僚に子どもの見守りを頼むことを禁ずるといった規則も作った」と述べられている。したがって、本文の内容と**一致しない**。

⑩「つくばみらい市庁のカウンターのサインは、子どもがいることが承認され、市の計画した方針であることを明確に示すためであり、それによって訪問者の誤解や懸念を防いでいる」

・第14段落で「職員が子どもを連れてきた場合、カウンターにそれは市が主導して行っていることだと示すサインを置き、市民を混乱させないようにしている」と述べられている。したがって、本文の内容と**一致する**。

⑪「ミツハタによると、民間部門がこのシステムを採用したら、政府機関にも同じことをするよう影響を与える可能性が高い」

・第15段落最終文で「行政機関がそのシステムを導入したら、そのことで民間企業も後続くようになるかもしれない」と述べられている。したがって、本文の内容と**一致しない**。

⑫「ミツハタによると、職員がプロフェッショナルな態度を維持し、職場を子育て支援センターのように誤用しないことが肝要である」

・最終段落1文目で、「子どもがいても職員が真剣に仕事に取り組むことが前提だ」とあり、さらに2文目で「配慮なく職場を子育て施設のように考えないようにするための規則を作ることが重要だ」と述べられている。したがって、本文の内容と**一致する**。

B.

31 ③

・urgentは「喫緊の」の意味なので、③pressing「差し迫った」が正解となる。

32 ③

・temporary「一時的な」の意味なので、③provisional「暫定的な」が正解となる。

33 ②

・prospective は「起こりそうな」の意味なので、②potential「可能性のある」が正解となる。

34 ③

・conditions は「条件」の意味なので、③requirements「要件」が正解となる。

35 ④

・delicacy は「繊細さ」の意味なので、④sensitivity「敏感さ」が正解となる。

36 ①

・prohibiting は「禁止する」の意味なので、①banning「禁止する」が正解となる。

C.「緊急の場合に職場に子どもを連れていくことができる選択肢があるおかげで、親や保護者たちは安心感を持つことができる」

- ・bring O to work「職場に O を連れていく」
- ・in case of A「A の場合に」
- ・allow O to do「O が…するのを許す、可能にする」
- ・a sense of security「安心感」

お問い合わせは☎0120-302-872

<https://keishu-kai.jp/>